

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 14 号

2012 (平成24) 年 4月21日 (土)

坐禅してなんになるの

北大寺住職 近藤 聖欣

みなさんは『論語』を始める前に坐禅をしています、なんのために坐禅をするのかと思っていませんか？『論語』と坐禅なんか関係ないだろう、ただ足が痛いだけだ。『論語』を学ぶ前に心を落ち着かせるためなら、坐禅でなくても良いのでないか？とも。でも、『論語』のこころと坐禅のこころは大いに関係があるのです。坐禅はただ心を落ち着かせるためのものではありません。坐禅はみんなの心の底にある、「思いやりの心」に目覚め、育み、働かせるものなのです。

「思いやりの心」、これこそ『論語』の主眼である「仁」の心ですね。この論語塾の大きな目的の一つは、みなさんに「仁」を学び、「仁」の心を身につけ、それを発揮できるようになってもらいたいことにあると私は考えています。

「思いやりの心」を仏教では「慈悲」といいます。慈しみの心・悲みの心ですが、仏教的にはあらゆるいのちが繋がっていると思う心と、他の人の苦しみ自分の苦しみとして受けとめる心のことです。

少し難しくなったかも知れませんが、「仁」と「慈悲」そんなに変わらないということです。坐禅をすると心が落ち着き・集中することができますが、それは坐禅の一つの効果にすぎません。

★ 塾生紹介 ★

中村 圭頂子さん	<氏 名>	前山 聖君
主婦	<学校(幼稚園)名・学年>	札幌市立幌北小学校・3年
道内巡り	<好きな教科>	図工・体育・国語
二宮尊徳(二宮金次郎)	<趣味(好きなこと)>	絵を描くこと
論語との出会いに感謝しています。 「子曰わく、六十にして耳順い、」に従って、「子曰わく、之を知る者は、之を好む者に如かず。之を好む者は、之を楽しむ者に如かず。」の気持ちで、これからも学ばせて頂きます。	<尊敬する人>	恐竜を研究している人
中村さんは「歯に衣着せぬ」言い方をされる方で、私はそういう中村さんを尊敬しています。 一番下の子供さんは、北海高校弁論部長をされ現在 NTT に勤めている私の自慢の教え子の一人です。	<その他>	健康のために始めた水泳のおかげで、すっかり丈夫になり、これからも続けていきたいです。(5歳から始めました)
	<先生からのコメント>	学校での授業は、積極的に発表しているそうです。論語塾で前に出てみんなと一緒に素読をするのが楽しいと話してくれました。ただ、みんなにあたるように工夫してほしいとのことでした。

※ 来月は、金子大紀君と坂下風夏さんを紹介します。